

2023 年度
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	大坪和香子
研究機関名	東北大学
所属部署名	大学院農学研究科
役職名	助教
研究課題名	動物性食品の健康的摂取の指針となる小腸フローラ制御方法の開発
研究実施期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

研究成果の概要

ブタやマウスなどの動物の小腸サンプルから小腸細菌を単離し、16S rRNA 遺伝子シーケンスによる菌叢解析および菌株ライブラリの構築を行った。これらの菌株の培養上清中の代謝産物を調べたところ、その多くがペプチドから短鎖脂肪酸やインドール誘導体を産生する能力を有していることが明らかとなった。これらの結果から、小腸内に常在する腸内細菌の多くが、動物性食品由来のペプチドやアミノ酸から有益なインドール誘導体を産生するポテンシャルを有していることが知られた。